

学長記者懇談会

学長就任にあたって

Kyushu Institute of Technology

1

次期学長候補者

三谷 康範

MITANI Yasunori



理事・総括副学長（研究・総務・国際・施設担当）
愛媛県今治市出身

愛媛に生まれ育ち、大学生活と教員生活初期を大阪で送り、2003年から九工大で活動してきました。原点は瀬戸内海で船のエンジンを扱っていた家業にあります。教養あふれるエンジニアを育成して日本を元気にすることが本学の使命と考えております。

2003.4 工学部電気工学科の教授に着任。その後は2007.4 環境マネジメントセンター長、2012.4 グリーンイノベーション実践教育研究センター長、2014.4 大学院工学研究院副研究院長、2016.4 イノベーション推進機構産学連携・URA領域長、2018.4 理事・副学長（研究・産学連携担当）を経て2020.4から現職。

2

「技術に堪能なる士君子」の養成

リベラルアーツの大切さ
唯単に技術者を培えるのみの学校ではない。士君子『ジェントルマン』を養成する学校である。



九州工業大学の育ての親
山川 健次郎
1854-1931



九州工業大学の生みの親
安川 敬一郎
1849-1934



明治専門学校は、教育のために私財を投じた実業家 安川敬一郎の崇高な志と、それに賛同した当時東京帝国大学総長であった山川健次郎の多大なる尽力によって創建された。

伝統を成長させる

財は吝むべからず。すべからく活用すべし。天恵を私せず、若者の教育により、国家に役立てたい。
教育・研究への効果的投資により
良い人材を輩出して卒業生が活躍して
地域・日本・世界へ貢献する

九工大のこれまで

第3期中期目標期間の基本方針

九工大のこれまで

- ✓ 特に産業界と海外大学との連携を通して本学の組織力強化と教育研究高度化を実現する。
- ✓ 社会との対話を通して情報発信力を強化するとともに社会から本学への信頼を醸成する。

※ 第3期中期目標期間は2016（平成28）年度から2022（令和3）年度までの6年間

学長就任にあたって

Kyushu Institute of Technology

5

第3期中期目標期間の主な成果

九工大のこれまで

学生海外派遣（留学）の増加



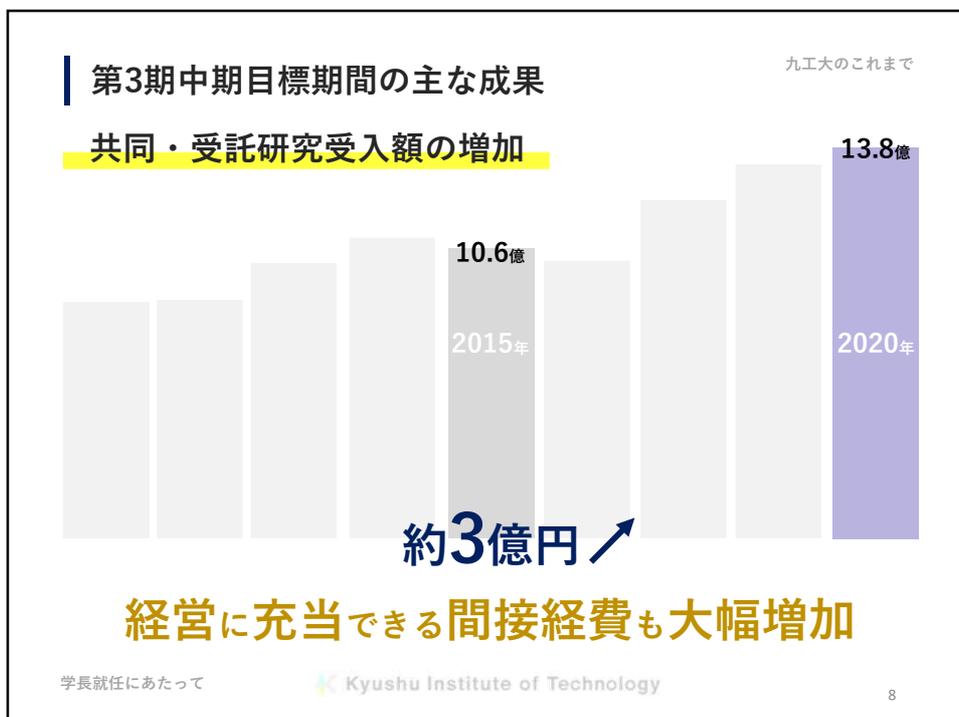
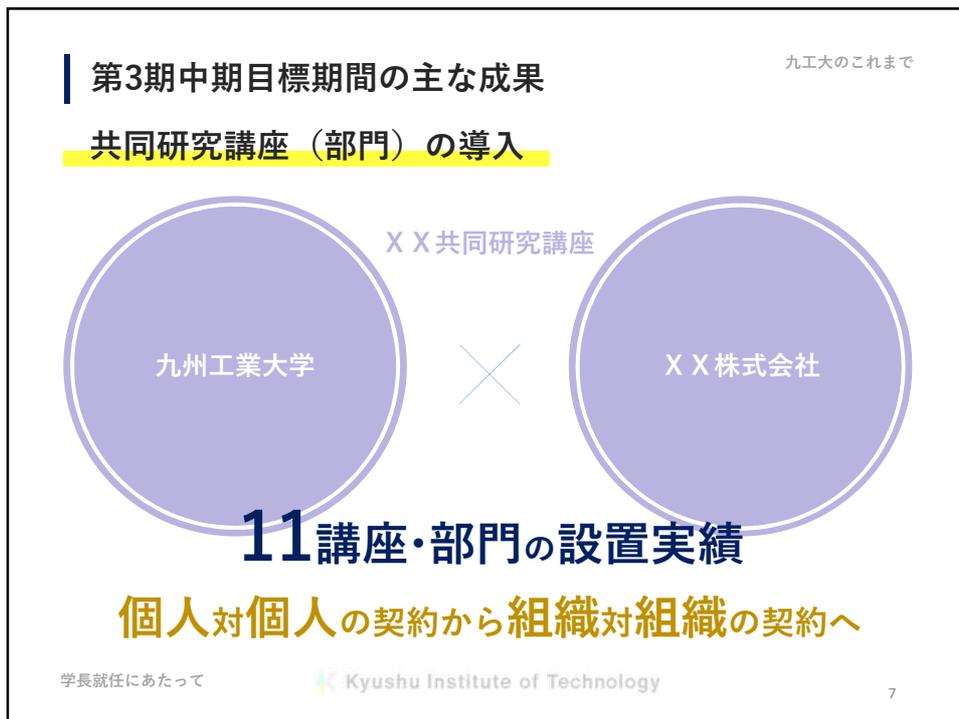
706名が32の国・地域へ
日本人学生の留学比率 国立大学3位

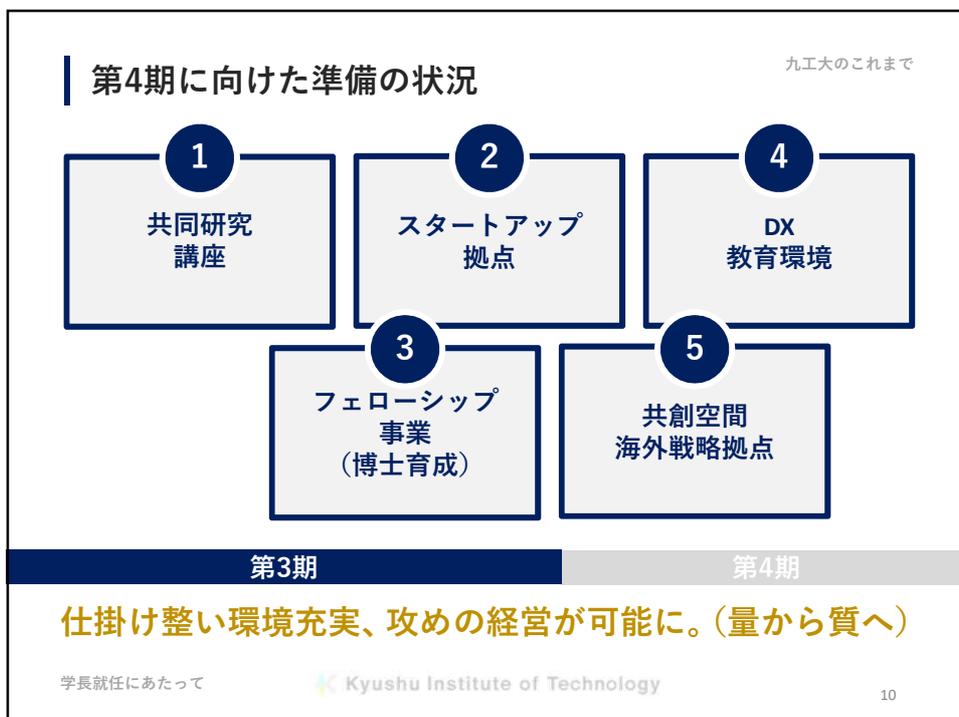
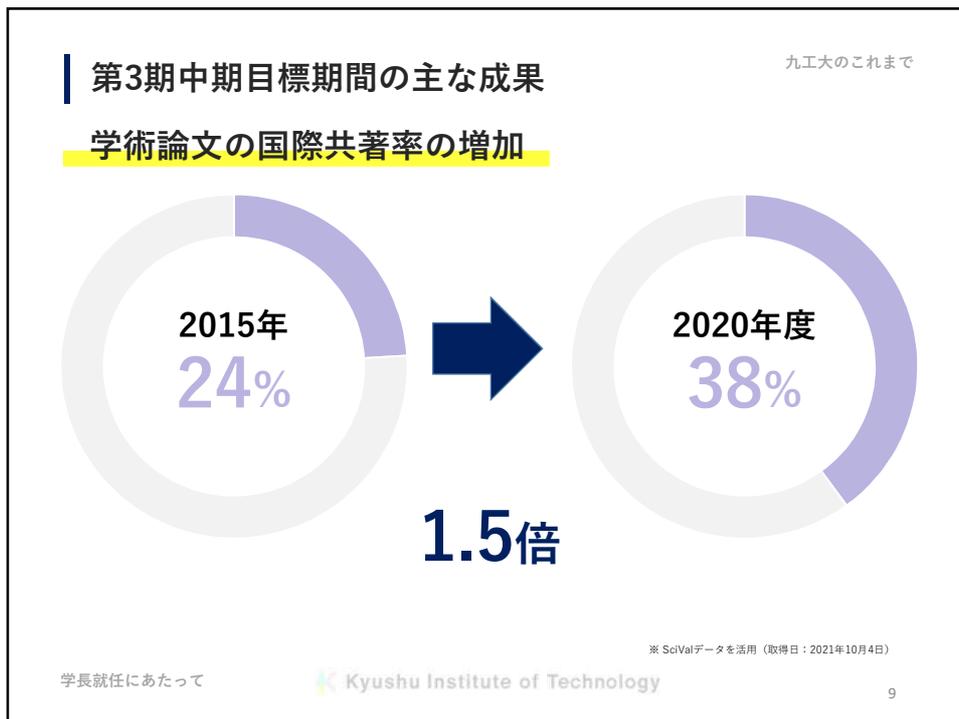
※ 2019年度実績

学長就任にあたって

Kyushu Institute of Technology

6





九工大のこれから

11

ビジョン

九工大のこれから

伝統を成長させる — チーム九工大 (1+1=more than 2)

1 産学官金・国際・社会・地域などとの多様な連携と対話を通じて学生と一緒に教職員も成長し、変化に柔軟に対応できる技術者を九工大の構成員全員で育てる。

2 多くのプレイヤー※が現実と仮想に集えるキャンパスを構築することで、様々なチャンネルを通じて地域・社会・世界にアンテナを張り、変化を知り、先取りし、変化に対応できる組織にする。

※ 小中高生、学生、教職員、企業人、地域住民、スタートアップ、外国人、卒業生など

活躍し続ける
技術者を育成
する場の創成

- キャンパス内にさまざまな成長の機会がある **【未来思考キャンパス】**
- 学びは在学中だけではない：学ぶことを継続できる環境を整えることも重要 **【卒業後の学生の質保証】**

▶ **社会的価値 増大** **学術的価値 増大** **卒業生の満足度向上**

学長就任にあたって

Kyushu Institute of Technology

12



キャンパスの多様性

九工大のこれから

イノベーション創出=多様性ある人、技術、資金の出会いと好循環

<p style="text-align: center;">女子学生比率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 中学生から大学入試・出口（企業）まで見通す ✓ 企業とも連携 	<p style="text-align: center;">みんなが集まるキャンパスに</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 社会人 外国人 スタートアップ・・・ ✓ 若者が見本にできる多様な姿がキャンパスに ✓ キャンパスは18歳から20代だけのものではない 	<p style="text-align: center;">海外との連携を新ステージへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 産も関与した国際連携 ✓ 海外大学からの教育提供で講義科目の国際化 ✓ 教員のネットワーク強化（若手の国際経験、クロスアポイントメント、スタートアップ） 	<p style="text-align: center;">ミライの技術に出会える</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 未来思考キャンパス
<p style="text-align: center;">諦めない教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ DX活用の重要性 ✓ 教育コースの多様性 	<p style="text-align: center;">学生の質保証</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ AI・情報・データサイエンスの基礎教養 ✓ グローバル教養 ✓ STEAM教育 ✓ 卒業後の継続教育 	<p style="text-align: center;">3つの「Re」</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ リメディアル <small>Remedial</small> ✓ リカレント <small>Recurrent</small> ✓ リスキリング <small>Reskilling</small> 	<p style="text-align: center;">ダイバーシティ & インクルージョン</p> <p>性別・年齢・障がい・国籍などの外面の属性や、ライフスタイル・職歴・価値観などの内面の属性に関わらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすこと。</p>

学長就任にあたって Kyushu Institute of Technology

14



共創空間 GYM LABO



Beyond 5G(6G)環境